

interview

ハフワールドワイドCEO エディ三好さん



国内は10月に2店、米国にも出店

TSIホールディングスのグループ会社、ハフワールドワイドのトップが交代した。8月13日付で元ボルコムジャパン代表のエディ三好氏がCEO（最高経営責任者）に就任した。グローバルブランド化を見据え、消費者との対話を重視し、一番の柱と位置付けるのが実店舗だ。10月5日に新潟、10月26日に東京・台場のダイバーシティ東京プラザ5階に「ハフ」の新店を開設。国内店舗数は7になった。

—CEOになった経緯は。

18年3月までボルコムジャパンに在籍していました。約30年間、スポーツ・アパレル・消費財分野で、主にセールのマーケティングに携わっていました。うち25年はインターナショナルビ

実店舗を柱に消費者との対話重視

ビジネスに従事しています。日米で培った経験を買われ、今回就任しました。

—ハフの今後については。

成功するブランドとは、どれだけ密に消費者へストーリーを伝えられるか。今はデジタル全盛の時代ですが、客と対話をする上で最も重要なのは店舗です。これから投資する上でも店舗には力を入れるつもりです。ハフの根幹にあるのはスケートボードカルチャー。時代が変わってもこの軸はぶらさずに、ブランドを広げていくというのが我々の挑戦です。一方でEC、SNS、もちろん卸販売も大事。どのチャネルでも常に同じ熱量で消費者と対話ができるようにすることが課題です。

—具体的な取り組みでは。

出店を強化する方針に基づき、国内では10月に二つの新店を出した。今後、米国でも大都市・中心市街地にこだわらず、ターゲットの18〜23歳あたりの若者が集まる場所に店を出していきます。ブランド誕生の地である米サンフランシスコにも近々店を出す計画です。また、グローバルブランド化に向けた新たな取り組みの一つとして、18〜19年秋冬からレディスラインをスタートしました。